



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2024/2025)

2024 ~ 2025 6 月号 (No940)

国 際 会 長 : Together for a Better World「より良い世界の為に、共に」
アジア太平洋地域会長 : Make a Great Impact「大きなインパクトを起こそう」
西 日 本 区 理 事 : つなげよう地域と世界、YMCA と共に
中 部 部 長 : YMCA に笑顔を。ワイズに笑顔を。そしてみんなに笑顔を
名古屋クラブ会長 : 新たな人の「つながり」を求めて ともに歩もう



名古屋ワイズ
ホームページ



名古屋ワイズ
FACEBOOK

6 月例会プログラム

と き : 2025 年 6 月 10 日 (火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ : 名古屋 YMCA (以下敬称略)

開会宣言 司 会 加藤 明宏
会 長 加藤 明宏

ワイズソング

聖書朗読・祈禱 西村 清

プログラム : この一年の振り返り

ハッピーバースディ・諸報告・ニコボックス

閉会宣言 会 長 加藤 明宏

食事の申し込みはこの所出席率が良いので 欠席の場合のみ連絡することに変更します。欠席の方は 6 月 5 日 (木) までに必ず川本書記まで連絡してください。無駄な食材や出費を出さないためにも 出欠連絡をよろしく願いいたします。

第 2 例 会

と き : 2025 年 6 月 16 日 (月) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ : Zoom
プログラム : 今期プログラムと例会の持ち方、その他
※今期も引き続き第二例会は第 1 例会の翌週の月曜日に行います

会 長 加藤明宏 書 記 川本龍資
副 会 長 都築正和 会 計 平野実郎、谷川修
プリテン 渡辺真悟、戸田真二、平野実郎

7 月号 原稿担当者

巻頭言 加藤 明宏 6 月第一例会レポート 山川 潔

新 横 綱 誕 生 ? !

川 本 龍 資

このプリテンが届くころには表題の「？」マークは取れていることでしょう。稀勢の里以来の日本人横綱の誕生です。元来の大相撲ファンで、毎場所 TV 観戦を楽しんでいます。最近では若手の台頭が盛んで実力が拮抗し、上位力士を脅かすようなとても面白い取り組みが繰り広げられ、誰が好成績をおさめるのか？ワクワク感満載です。

そんな中、今場所初土俵から 2 年という超スピード出世の大関「大の里」が初日から勝ちっぱなしの 12 連勝 (5/22 終了時点)。ふがいない横綱、もう一人の大関を横目に独壇場の活躍です。このままいけば 2 場所連続優勝で横綱昇進が確実。実に石川県出身の力士として「輪島」(1973 年昇進) 以来の快挙となりそうです。

もう一人の注目力士が、東前頭 9 枚目「安青錦」、ウクライナ出身の 21 歳です。先場所初入門、11 勝を挙げ敢闘賞受賞。今場所も既に勝ち越しを決めている、若手のホープ的存在です。先輩の同郷力士「獅司」と共に角界を盛り上げる存在となっていくでしょう。

さて、「大の里」は石川県出身。「安青錦」はウクライナ出身。両力士共にふるさとが、自然災害や戦禍で困難な状況に置かれています。この二人が大相撲というスポーツで活躍している姿が被災地の人々に大きな勇気と希望を与えていることを確信します。

私たち YMCA・ワイズも、具体的な奉仕や祈りを通じて困っている人たちに寄り添っていきけるように！と願いながら大相撲 5 月場所を観戦する毎日です。

クラブ出席		4 月 個人出席									イベント出席	
在籍 (2 名功労・広義会員)	18 名	氏名	第 1	第 2	氏名	第 1	第 2	氏名	第 1	第 2	5/13 第一例会 ゲスト : 山本道雄氏	
第 1 例会	15 名	小 尾			鈴 木			中 村	○			
メネット	0 名	加 藤	○		相 馬	○	R	西 村	○	R		
ゲスト・ピジター	1 名	川 口			谷 川	○	R	平 野	○	R		
第 2 例会	7 名	河 部	○		都 築	○		深 谷	○			
メネット	0 名	川 本	○		戸 田	○	R	山 川	○			
ゲスト・ピジター	0 名	塩 田	○		中 井	○	R	渡 辺	○	R		
メーキャップ	0 名										○出席 R リモート出席 M メーキャップ	
出席率	94%											

■ ■ ■ 1 月例会レポート ■ ■ ■

と き :2025 年 5 月 13 日 (火) 19:00 ～ 20:10

ところ : 名古屋 YMCA



講師 山本道雄さん

5 月例会は、深谷ワイズ紹介の山本道雄さんの卓話。当初は固辞されたとのことでしたが、我々の要望に応じていただき感謝でした。演題は「御嶽山噴火災害に遭ったあとに」でした。生々しい頂上付近の写真とともに、お話しが始まりました。私たちには、日和田キャンプ場から望む雄大な山、名古屋からでもその雄姿が見える身近な山のイメージとは違う風景でした。その噴火に、まさに火口付近で遭遇されたとは……。一瞬言葉を失いました。自衛隊でのご経験から、出来る限りの救助に即とりかかったことは、さすがと思いました。

後半は、オリンピックの娘（山本有真さん）の活躍の様子を、映像を交えて、誇らしげにしかし少し照れながら話されたのが印象的でした。中学・高校の時は、特に注目される選手ではなく、強豪名城大学に入ってから紆余曲折の日々

だったそうです。しかし努力を重ね、一躍パリオリンピックの代表になり、現在社会人として 9 月東京での世界陸上、2028 年のロス五輪に向けて精進されているそうです。



山本さんファミリー（左から 2 人目が有真さん）

5 月 19 日付の新聞には、セイコー GGP 東京の記事に、女子 3000m 日本人最高の 3 位に、山本有真（積水化学）さんの名前を見つけました。今回のご縁でこれからの陸上大会、オリンピックを見る目が変わり、応援する気持ちが皆さんの中にも芽生えたと思います。それでも中高と陸上部（長距離）所属の私としては、特別の思いが湧いてきました。後追いの感がありますが、地元サポーターとして活躍を応援したいものです。もちろん父道雄さんも、このご縁でワイズ・YMCA とのつながりができればうれしいことです。

（加藤 明宏）

■ ■ ■ 日和田リーダートレーニング 参加レポート ■ ■ ■

恒例の名古屋 YMCA ユースリーダートレーニングが今年も 5 月 3 日から 5 日の日程で名古屋 YMCA 日和田キャンプ場にて開催されました。名古屋クラブからは、カントク（中村）、シンゴ（渡辺）、ポンプ（川本）3 名の参加でした。

今年度は現役大学生ユースリーダー 2 3 名の他、この 3 月に卒業し社会人として歩み始めたフレッシュリーダー OP+ベテランリーダー OP、グランパスクラブメンバー、名古屋 Y スタッフ、そしてワイズ西日本区より国際・交流事業主任、次期中部部長他の訪問もあり総勢 60 名を超える日和田ラバーズが集合しての開催でした。

トレーニング初日は夏キャンプの為の諸準備（ワークキャンプ）、楽しい夕食を囲んでの懇親の時となりました。今年度はフレッシュリーダー OP が夕食の担当を担ってくれたことも特筆事項です。2 日目からは本格的なリーダートレーニングとして早朝の開会礼拝からスタートしました。シニア組は、初日はキャンプ場の水廻り器具設置（シャワー用給湯器据付など）で汗

（冷や汗）を流し、2 日目からはキャンプ必須アイテム「薪」を作るための薪割り（丸太から薪にするまで）などに励みました。

緑豊かな自然のきれいな空気の中で、世代を越えて YMCA で育っている人たち、又 YMCA に育てられた人たちと共に過ごす時間が本当に価値あることだなーと実感。まさにキャンプソング「ね」を感じた時でした。



薪割り作業中



フレッシュリーダー OP 手作り料理の味は？

今年も多くの子供も達が、この日和田で貴重な体験を安全・安心の内にできるための環境整備の業に参加できたことを嬉しく思います。

補足：OP = オールドパーソン。OB・OG と置き換えていただいても構いません。

（川本龍資）

■ ■ ■ 第 2 例会レポート ■ ■ ■

と き :2025 年 5 月 19 日 (月) 19:00 ~ 20:00

ところ :Zoom リモート

1.6 月以降の例会について

6 月例会 6 月 10 日 (火) 「この 1 年をふりかえって」

＊次年度 (2025-26) は、役員および各担当者は、全員留任でお願いしたい

上記の前提で、1 年をふりかえって新年度の内容を検討する懇談の時とする

7 月総会に向けて口頭での事業報告や会長の振り返りと次年度方針、また入会基準、会費、新クラブ設立 (平野メン担当) など話合うこととする

7 月例会 7 月 8 日 (火) クラブ総会 (名古屋 YMCA にて)

8 月例会 8 月 12 日 (火) 納涼例会 ＊名古屋 3 クラブ合同例会を提案

＊ワイズ連絡会開催を会長から中村総主事にお申し、そこで提案したい

12 月クリスマス例会 名古屋ガーデンパレス 第 1 候補 12 月 13 日 (土) でとれました

(卓話候補者)

●牧野和博さん 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事

●三枝 隆さん 名古屋 YMCA スタッフ スズカト担当

2. 次年度ロースター 確認

●全員確認の上校正済の原稿を 4 月発送済

●申込 19 部 + 東日本 1 部 締め切り 5 月 31 日 (土)
1 冊 2,000 円 (税込)

3. その他

●名古屋 YMCA 大会 6 月 29 日 (日) 13:30 ~ 16:30
ルブラ王山 各自申込必要 締め切り :6 月 2 日 (月)

●2025 年夏 日和田キャンプ場 ボランティア募集

＊過去の参加者には遠藤さんから依頼メール配信済み
興味のある方は中井さんか遠藤さん迄

●日和田名星舎の追加工事 (屋根裏防音 & 断熱) の検討をしてゆく

●アジア太平洋地域大会 (熊本) 8 月 1 日 (金) ~ 3 日 (日)

＊クラブ単位での登録に変更、相馬さんは申し込み済み、
広告掲載は加藤会長よろしく

●中部部会 10 月 4 日 (土) 於 : とやま自遊館 詳細はまだ配信されていない

＊自家用車での乗合を検討

●西日本区大会

2024-25 2025 年 6 月 14 日 (土) (ANA クラウンプラザ神戸) 単日開催 申し込み済み

2025-26 2026 年 6 月 13 日 (土) (なら 100 年会館・ホテル日航奈良) 単日開催

●愛実の会は今年も芋掘り体験を希望する (昨年と同時期) 今後ハーベストクラブと相談

また例年の名古屋クラブからのクリスマスの訪問も 12 月に行う

●愛実の会以外にも CS 事業がやれると良い。天使園と中央有隣に谷川さんから打診する

●ハーベストクラブは引き続きサポート会員募集中 (年会費 ¥3,000) (渡辺 真悟)

ハーベストディ

メン

渡辺 真悟

メネット

平野 愛子 山川 里恵

会計より会費納入のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。できるだけ 6 ヶ月分 42,000 円を 7 月と 1 月に納入してください。3 ヶ月ずつ納入される方は 7 月、10 月、1 月、4 月に納入して下さい
ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781
なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ

名古屋ワイズ

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは <https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>
FACEBOOK: 名古屋ワイズメンズクラブと検索スマホからは 1p 表題にある QR コードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい

ブリテン委員 からお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしくお願い致します。



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです」(コリントの信徒への手紙一 12:26)

西村 清

ある時、口が「俺は、毎日3回も食事をしているのに、何もしないで俺の上にいる鼻は、けしからん」と鼻に文句を言いました。鼻は、フーンと鼻で笑って、「鼻は、見えないだろうけど、24時間息をし続けているんだ」と言い返しているうちに、口と鼻は「俺たちの目上にいる目は何もしないのに何で上にいるのだ」と目に言いました。すると目は「口元に食事を運べるのは、俺様が見ているからだし、高い鼻が転んでけがしないように俺様が見張っているのだ」と言い返しました。そうこうしているうちに、目と鼻と口が、ふと気が付きました。「何もしない眉毛が一番上にあるのはけしからん」と眉毛に文句を言いました。眉毛は「私は、何もしないようですが、目や鼻や口に物が落ちないように防いでいます。いつも皆さんの働きに感謝しています。皆さんの働きがあって私たちの体が健康で、私の働きができるというものです」と感謝された目と鼻と口は、互いの働きを認め合い、感謝されると気持ちが良いと気づき、感謝しあいながら、一つの体として

助け合っていくようになり、いつも笑顔になった。

上の文章は秋田の民話で、YMCA 同盟主事田附和久氏のレポートとしてメール送信されたものです。見られた方もあるかと思います。そして同時に、今月の聖句は、分断をさげられる今の時代に連帯する姿を目指して選ばれた2025年度の同盟の聖句でもあります。

今月の聖句は以前にも取り上げた個所ですが、体は一つでも、多くの部分から成り、体の全ての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様であるとなっています。目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。体の中でほかより弱く見える部分が、かえって必要なのです、と聖書は語ります。

今月の聖句と秋田の民話とほぼ同じ内容のことを言っているように思います。私たちのクラブもこのような思いをもって積極的に、いろいろな活動に参加できればと願っています。

.....

YMCA ニュース

決算業務

5月の理事会、6月の評議員会で承認を受けて、2024年度の決算が確定します。現在、その準備を進めているところです。私が総務担当になってから6年が経ちますが、当初は右も左も分からず、皆様のご協力をいただきながら何とかやってきました。公益財団法人は株式会社とは異なり、「収支償還」や「会費の繰り入れ」、「基金の積み立て」や「仕分け」など、会計処理が複雑です。その一方で、税制上の優遇措置があるため、税務処理自体は比較的単純です。株式会社はその逆であるように思います（とはいえ、私は株式会社に勤めた経験がないため、推測にすぎませんが…）。

2024年度は、財政面では順調に推移しています。ただし、既存の乳幼児クラス、ユーススポーツクラス、文化クラスでは会員数が減少傾向にあります。指導の質を高め、他の同業者と比べて優れたプログラムを提供することはもちろん重要ですが、それに加えて、時代の変化に応じたプログラムの見直しも求められていると感じます。決算に示される数字は、単なる「結果」ではありません。一人ひとりの1年間の努力の結晶であり、同時に、今後の名古屋YMCAが進むべき方向を示す道標でもあると考えています。

(中井信幸)